

学校経営推進費 評価報告書（最終）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立香里丘高等学校
取り組む課題	授業改善への支援（生徒の学力の充実）
評価指標	<ul style="list-style-type: none">・ アクティブ音楽コース選択生徒による授業アンケートにおける授業満足度の向上及びコース選択生徒の比率向上・ 全国的な作曲コンクールでの審査結果
計画名	「得意を伸ばす！ アクティブコース充実プログラム」

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 確かな学力の育成と第一志望の進路実現 (3) アクティブ専門コース（アクティブ音楽コース、アクティブスポーツコース）の充実。</p> <p>ア 生徒の得意分野や興味・関心の深いエリアをさらに支援し、伸ばすことを目的としながら、自信や意欲を支える自尊感情や自己肯定感を高め、自己実現をめざす志を育み、学習面とは違った側面から学力の向上も図る。</p> <p>イ 何事にも積極的に取り組む姿勢を育むとともに、リーダーシップ、忍耐力、集中力、協調性、社会性、奉仕の精神など、社会で必要とされる「生きる力」を育む。</p> <p>ウ アクティブ音楽コースについて学校経営推進費を獲得(R3)「得意を伸ばす！アクティブコース充実プログラム」（作曲支援ソフト、プロジェクター、アクセスポイント設置等）</p> <p>令和6年度には授業アンケート95%以上。コース選択者7%以上。授業課題として「作曲」した最優秀作品をコンクールに提出し、入選をめざす。</p>
事業目標	<p>アクティブ音楽コースでは、音楽について様々な角度から学習しており、その一つとして2年生で楽曲の『編曲』、3年生で『作曲』を取り入れている。この活動をさらに充実させるため、楽譜作成ソフトを一新し、作曲家等外部講師に指導を仰ぎつつ、3年生が作曲した「マーチ（行進曲）」の最優秀作品を全国的なコンクール（全日本吹奏楽課題曲コンクール『朝日作曲賞』）に出品し、入賞をめざす。特色ある授業を展開することにより、アクティブ音楽コース選択者の比率を令和5年度に7%（R2 4%）にし、「授業アンケート」『興味・関心を持つことができた』『知識・技能が身についた』を令和5年度には95%（R2 92%）にする。</p>
整備した 設備・物品	<ul style="list-style-type: none">・ 楽譜作成ソフト(24台分)・ プロジェクタ・ 情報コンセント、アクセスポイント・ スピーカー・ブルーレイプレーヤー・プリメインアンプ・教員用ノートパソコン・ハーモニードイレクター
取組みの 主担・実施者	<ul style="list-style-type: none">・ プロジェクト委員会・ 実施責任者は、アクティブコース担当者（指導教諭（音楽））
本年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none">・ 楽譜作成ソフト「Finale」をインストールしたパソコンを使い、今年度も2年生はアンサンブル曲の「編曲」、3年生は吹奏楽マーチの「作曲」に取り組んだ。プロジェクタを活用して作品を共有することにより、作曲への意欲を高め、技能向上につなげることができた。

	<ul style="list-style-type: none"> 3年生の作曲では、本校卒業生である作曲家・酒井格さんに2度の指導を受けた。1度目は作曲途中の一人ひとりの作品に対して問題点などをご指摘いただき、改善策を探った。2度目は、完成したマーチの優秀作品発表会を吹奏楽部員の演奏で実施し、その演奏について講評とアドバイスをいただいた。 この発表作品の中で、酒井先生にご推薦いただいた作品を、全日本吹奏楽コンクール課題曲公募（第34回朝日作曲賞）に応募している。
成果の検証方法と評価指標	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業アンケートにおける「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている」「授業を受けて、知識や技能が身についたと感じている」を平均95%以上にする。 ② アクティブ音楽コース選択者の割合を7%以上にする。 ③ 個々の生徒作品を外務講師に評価していただく。 ④ 最優秀作品を全国作曲コンクールに提出し、入選をめざす。
自己評価	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業アンケートにおける「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている」「授業を受けて、知識や技能が身についたと感じている」を平均98%だった。（○） ② コース選択者は4%（2年生7%と3年生2%）……………（△） ③④ 生徒が作曲した作品のうち、入選が期待できるものとして評価をもらった酒井先生推薦の作品を、第34回朝日作曲賞に応募することができた。……………（○） <ul style="list-style-type: none"> 最新の音楽ソフトを導入して3年めとなる今年度は、同ソフトを使って、2年生は編曲（歌曲⇒吹奏楽アンサンブル曲）、3年生は作曲（吹奏楽曲マーチ）に取り組み、どちらも順調に進めることができた。 コース選択者の数は目標に届かなかったが、プロの作曲家の指導により、生徒たちが「マーチ」をより良い作品になるよう工夫して完成させることができた。 令和5年度近畿音楽研究会大阪大会において、アクティブ音楽コースの授業を大阪府代表として公開授業を行い、授業力向上に大きく貢献するとともに、高い評価を得ることができた。
事業のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の計画に沿って取り組んだ作曲に必要な知識の学習や生徒作品の指導に、最新のソフトやプロジェクタが大いに役立った。プロの作曲家の協力も得て作品の内容、質を高め、最優秀の作品をコンクールに出品することができた。また、昨年度の出品作品は吹奏楽部定期演奏会で初演を行い、好評を得た。 また、これらの取組みを本校内だけではなく中学校や他の高等学校へ広めていく機会として、今年度の近畿音楽研究会大阪大会において、大阪府の代表として授業公開を行った。

3. 事業費報告

今年度事業費総額	27,000	円
----------	---------------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

	科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
積算内訳	1 報償費	1	講師謝礼（作曲・演奏指導）	¥13,500	2	¥27,000
		2				
		3				
						小計
					合計	¥27,000